

# 田尻町の田尻歴史館を活かしたまちづくり

近畿総合メンテナンス株式会社

取締役 黒川 哲子

## 1. 活動方針・目的

長い間に培って来た建物メンテナンスのノウハウを生かし、古き良きものを利・活用しながら後世に残してゆくという目的をもって活動しています。

## 2. 活動内容

- ・1階ホール・食堂をカフェレストランとしてオープンし、室内楽やオカリナの演奏会等を催しています。
- ・洋館の2階は、絵画や陶芸・写真等々のギャラリーとして、また和館では吟行会や会議等に、茶室はお茶会などをして利用して頂いています。
- ・そうして建物のメンテナンスをし、この建物を建てられた谷口氏の「生き様」を見学に来られたお客様に聞いて頂いております。（案内はボランティアさんがしてくれています）
- ・レストランでは、田尻町ならではの食材にこだわり、地元で採れた野菜を中心に魚介類も地元田尻漁港等から仕入れた新鮮なものばかりです。
- ・案内書は、英語版・中国版・台湾版も作成、関西空港や田尻町にあります国際交流センターのお客様を広く迎えております。

## 3. 他の活動団体と参考になる事例

- ・この建物は国の登録有形文化財で大阪府の指定有形文化財の為、全ての掲示物・展示物は養生テープを使用し工夫しております。
- ・和室の柱や床板は、もち米のぬかで手入れをしたり、当社の今までの技術では及びもつかない勉強をさせて頂いております。
- ・天井のふところの深さなどに古の大工さんが、後々のメンテを考えて造ってこられたのだという思いがしみじみとわかり、難しい反面すばらしい勉強もさせて頂いております。
- ・当社の活動がマスコミに取り上げられることで、いろいろな分野の方たちが見学に来られ、建物の手入れの仕方、材料（屋久杉や肥松、チーク、西陣織）の知識、木組みなどを教えて下さり、ここで知り合いになられた方たちがまた友人を連れて来てくださったりと、当初目指したサロンようになってきております。
- ・大正11年の建物の為、敷居がすりへってきたり、建物の至る所にはめられたステンドグラスが痛んだり雨が漏ったりしていますが、田尻町にも当社にもそれを修繕していくお金も潤沢になく、樋の清掃をまめにし、エポキシ樹脂やパテでおさえ、だましまし使っています。取っ手や照明器具も同じものが、もう無いため、当社の技術者が壊れるたびに一つ一つ組み立てて再使用しています。

## 4. 今後の課題等

- ・ステンドグラスの組み換え（バラバラにして元の様に組み立てる）ガラスの表面及びケームが痛んできているため、今度台風でもあれば、バラバラに散ってしまうのではと専門家に言われています。
- ・洋館の雨もり、和館のゆがみなど調査して頂き、計画を立てて修復して頂きたい。（お金の問題あり）
- ・漁港他近隣の施設と連携を図り、地域とともに歩みたいと考えております。



## 田尻町について



### 田尻町の特産物

水なす



黄たまねぎ



## 田尻歴史館と谷口房蔵



田尻歴史館

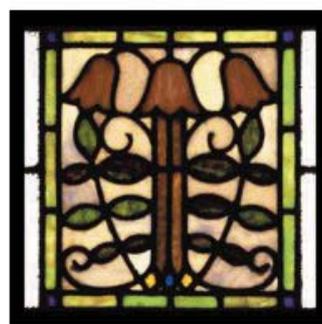
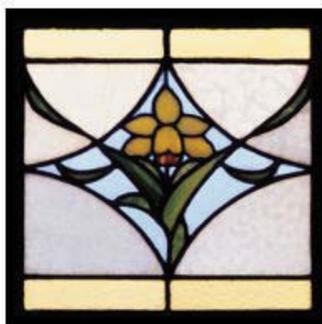
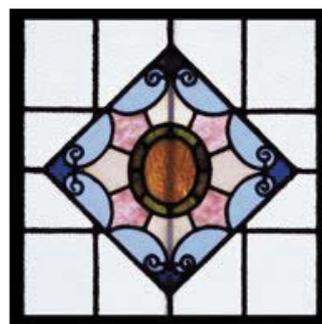
国の登録有形文化財  
大阪府指定有形文化財  
近代化産業遺産に認定



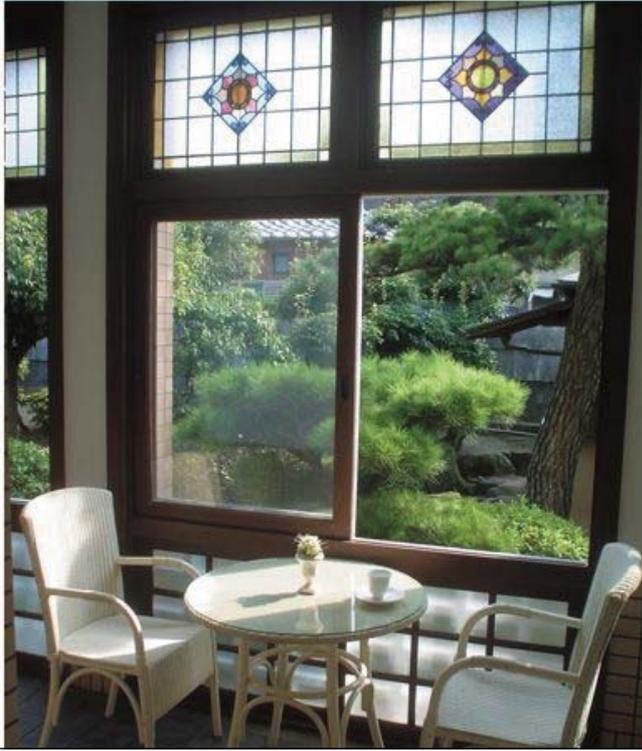
谷口 房蔵

綿の王と呼ばれていた

## 田尻歴史館内のステンドグラス



## カフェ・ベッラメンテ



泉州黄たまねぎの  
ハンバーランチ



## 洋館2階のギャラリースペース



現在開催中の  
「陶芸展」の様子

**3月22日まで開催！**



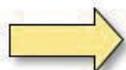
## 今後の課題

### ● 建物の手入れの仕方

### ● 修復について

ステンドグラス

建物の雨漏り



金銭的な問題

### ● 近隣施設との連携

田尻漁港や関西空港など

